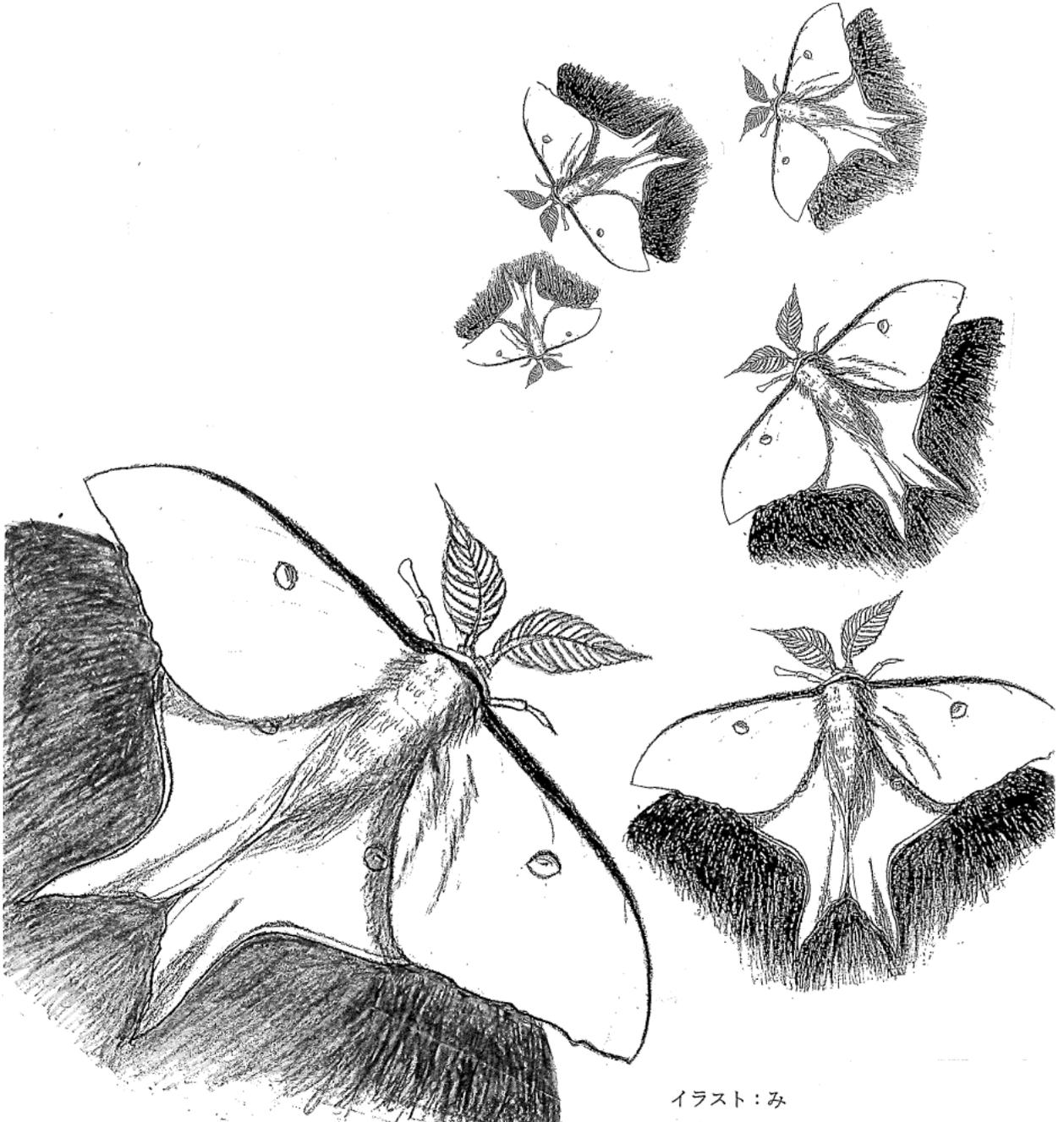


すずがも通信

認定NPO法人 行徳野鳥観察舎友の会 会報 第219号

2016年8月1日発行



イラスト：み

行徳野鳥観察舎友の会「すずがも通信」

猛暑予報ですが… ～常勤スタッフによる保護区・観察舎情報～

今年の梅雨は降水量・降雨日ともに少なく、晴れた日はうだるような暑さ。じめじめしないのは良いですが、水不足が心配です。

常勤職の一人、佐藤達夫がコクガン調査に同行するため、6月14日から7月18日まで丸一ヶ月不在。団体利用やイベント、工事に修理に調査にと目が回るような留守番組です。

○保護区

ひたすら観察路を草刈る日々。この時期は道の両脇からも伸びて垂れ下がってくるので、肩掛草刈機で刈った後ハンマーナイフ(自走式草刈機)で路面の草とまとめて破碎するのがワンセット。

浄化池はトラクターをかけて草を抑えています。畦に設置した自動撮影カメラにはアオサギやコチドリが映っていました。田植えは5月6月のボランティアデーで無事完了。アミミドロの勢いが良くて苗が結構倒れてしまっているの、捕植が必要かも。その他、導流堤やカワウコロニー管理通路の草刈も進行中。

ゴムシートが剥がれてしまった水車池④は低水位用のポンプのおかげで底まで排水することができ補修工事のめどが立ちました。今号発行時には工事が完了し水が戻せている筈。何事もなく直りますように。

鳥の方はアオサギ・ダイサギ・カワウの繁殖がほぼ終了。カワウコロニー内のダイサギ幼鳥にはカラーリングを装着しました。鴨場北池や田の字池ではカイツブリが繁殖中。今年はセッカが久々に鳴いています。浄化池周辺ではムクドリが群れており草刈りをしていると出てきた虫を捕まえに集まってきます。鴨場との境の林ではスズメ、カワラヒワ、シジュウカラなどの親子連れがよく見られます。トビ・ミサゴはちょくちょく記録あり。カモメ類はウミネコがたまに見られるぐらいでコアジサシは見かけなくなりました。この他、バンが長靴池・田の字池で見られ、オオバンも北池にいる模様。繁殖か？

観察舎が使えないということで団体利用はもっぱら保護区案内中心。この時期はカニ・トビハゼ・バッタが主役。子供たちを引き連れわーきゃーとにぎやかに探検しています。ショウリョウバッタですらとても興奮してくれるのはありがたいですが、自然に触れ合う場所や機会が乏しいのかなとも思います。



キアシシギ(左)とネジバナ

(前のページより続く)

○観察舎動向

県の「公の施設の見直し方針(案)」に関するパブリックコメントが当初予想より早く実施されました。皆さまには突然のお知らせで驚かせてしまいましたが、おかげさまで多方面からコメントを出していただきました。良い方向に動くといえます。

○今後予定

8月13日(土)日中に昆虫観察会、夕方セミ羽化観察会。20日フィールドミュージアム「泥干潟」、夜の昆虫観察会、21日に江戸前干潟研究学校。9月末から1ヶ月谷津干潟で保護区紹介のポスター展示予定。やちよかん祭りは11月3日(木・祝)に決定。規模は縮小してしまいますがどうぞよろしく。

文:野長瀬・山口 友の会新HP作成中! <http://gyotokubird.wix.com/npofgbo>

パブリックコメント 多くの方が意見を提出してくださいました。

行徳野鳥観察舎は、千葉県行政改革審議会により「県施設として維持する必要性が低いため、廃止する方向で検討を行う。」「跡地の利用については、市川市と協議を行う」という方針(案)が出されました、これに対する「意見募集」(パブリックコメントの募集)が6月1日から6月30日までの間に行われました。意見を記入した用紙を郵送、ファクス又は電子メールで千葉県に送るものでした。

多くの皆さんが声をあげてくださいました。友の会スタッフや、常連さんがお預かりして、県にお送りしたものだけでも、119通に達しています。皆様、どうもありがとうございました。

友の会としても、保護区の自然を愛し、管理に携わる者として、以下のとおりコメントを提出いたしました。

行徳鳥獣保護区が、日本の自然保護の記念碑的な役割を担っていると同時に、国際的に重要な湿地であることに異論はないと考えます。その素晴らしさを社会に広め、未来を担う多くの子供たちにも引き継いでいくには、付属の施設は必要です。自然保護という目的上、保護区内への自由な立入の制限が伴うことから、保護区を見渡し、望遠鏡で鳥や景観を観ることができるスペースが不可欠なのです。利用者をフォローする専門スタッフも必要でしょう。

地元の利用が多いのは当然かつ健全なことです(この種の施設は地元を受け入れられなければ未来はないと考えます)。一方で、もちろん県内外からの利用者もありますし、かつてスペイン国王が訪問されたことに象徴されるように、全国的・国際的にも重要な場所です。

自然に親しみ、その大切さを発信できる拠点がしっかりと再生されることを願います。

5・6月 保護区の鳥の様子

川上正敬

2016年5月から6月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で50種を記録しました。春の渡りの季節が終わり種数は急激に減少する一方、雛の姿などがよく見られる季節です。

《今季のトピックス》

1. 5月初旬、たくさんのオオヨシキリを記録しました（5/2、16羽）。しかし、その後姿を消しました。
2. 5月下旬になると、熟したサクラの実に雛を連れたムクドリ、スズメなどが群れていました。

No	科名	種名	5/2	5/8	5/16	5/22	5/31	6/6	6/11	6/19	6/26
1	キジ科	キジ				○	○				
2	カモ科	ヒドリガモ		○	○	○					
3		カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4		ハシビロガモ				○					
5		コガモ	○	○							
6		ホシハジロ	○		○	○		○			
7		キンクロハジロ	○								
8		スズガモ	○	○	○	○					
9		カイツブリ科	カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ハト科	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ウ科	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	サギ科	ゴイサギ									○
13		アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14		ダイサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15		チュウサギ	○								
16		コサギ	○								
17	クイナ科	バン			○						
18		オオバン	○	○	○	○			○	○	○
19	チドリ科	コチドリ	○	○	○	○	○		○		
20	シギ科	タシギ		○	○	○					
21		チュウシャクシギ	○		○						
22		キアシシギ			○	○					
23		イソシギ	○	○	○	○					
24		キョウジョシギ			○						
25	カモメ科	コアジサシ	○		○						

26	ミサゴ科	ミサゴ				○				
27	タカ科	トビ	○							○
28	カワセミ科	カワセミ	○	○			○	○		
29	キツツキ科	コゲラ					○			○
30	ハヤブサ科	チョウゲンボウ			○					
31	カラス科	オナガ	○				○	○		○
32		ハシボソガラス	○	○	○	○		○		○
33		ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
34		シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○
35	ツバメ科	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○
36	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
37	ムシクイ科	メボソムシクイ					○			
38	メジロ科	メジロ	○			○				
39	ヨシキリ科	オオヨシキリ	○			○	○			
40	セッカ科	セッカ			○					○
41	ムクドリ科	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
42	ヒタキ科	キビタキ	○							
43	スズメ科	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
44	セキレイ科	ハクセキレイ	○	○	○	○		○		
45		セグロセキレイ	○							
46	アトリ科	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	
47		シメ	○							
48	ホオジロ科	アオジ	○							
49		オオジュリン	○	○						
50	ハト科（外来種ドバト）			○	○	○	○	○		○
種数			36	25	29	29	21	19	15	18

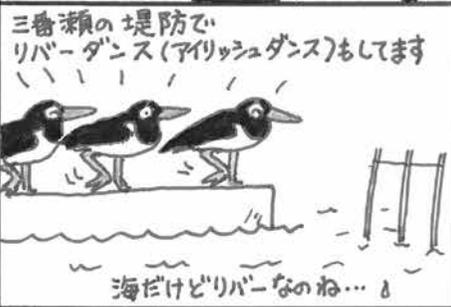
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(4月～6月分。前号記載分は除く)





ミヤコドリ

Oyster catcherと呼ばれるよ
(カキを捕食する鳥) ← 赤いお目め



11期は3人のインターンが活躍していました！

インターンのNさんは活動家でもあります。どんなことをしているのか伺ってみました☆

こんにちは！ 11期の社会人インターンNです。活動家(〜)って超アヤシゲですね(笑) 普段は仕事を持つ主婦ですが、裏の顔(?)は、動物関係のいろんなボランティアをしています。住んでいる町の自治会と協働で「動物を飼っている人もそうでない人も、気持ちよく暮らせる街づくり」を合言葉に、野良猫の不妊手術を中心とする地域猫活動をしたり、適正なペットの飼育を呼び掛けたりしています(この活動は実は現在仲間たちに任せ、私はお休み中。仕事&親の介護で忙しくなっちゃいました!)

また私自身の犬たちを連れて、千葉県内の高齢者福祉施設を訪問したり、大学や高校で学生たちに動物介在教育を行ったりしています。若い人たちに、人間が自然や生き物とともに生きていくことの大切さ(って陳腐な表現ですが〜)が少しでも伝わったらいいなと思って活動しています。

5月で、観察舎でのインターン期間が終わってしまいました。なんだか長い長い夏休みが終わった気分(ショボン)。いきなり「トビに差し餌してきて〜」と鶏頭の細切れとピンセットを渡されて目を白黒させた昨年6月から1年。本当に経験することすべてが驚きと感動とコワゴワの連続でした。

子どものころに小鳥(十姉妹や文鳥、九官鳥)を飼ったことを除けば、野生の鳥とガチで触れ合うのは初めてでした。野鳥病院での野鳥たちとの接近遭遇(?)は、すでに半世紀に及ぼうとしている私の人生、ひっくり返るぐらいのインパクトがありました。

5月7日、同期のR君Nさんとともに、子どもたち向けの、保護区のカニの観察会を開きました。1年間、さまざまな観察会のお手伝いをしましたが、自分たちで企画・実行するのは本当に大変！ 幼い子たちが無心にカニを追いかけてはしゃぐ姿を見られて、何よりうれしかったです。

友の会会員のみなさん、ボランティアのみなさんと濃ゆいイキモノトークができたのも、とってもシアワセでした。私の人生を変えた野鳥観察舎の休館は、心から残念です。今後はボランティアとして、再開のお手伝いが何かの形でさせていただけたらいいなと思っています。

Nさん、ありがとうございました！ボランティアお待ちしておりますよ♡

野鳥病院新聞

2016年(平成28年)

5月～6月号

第44号

担当：みやた

ヒナシーズン到来！

ハクチョウたちが新天地へ旅立って静かだなあ、とちょびっと寂しさに浸っていたところ…

今シーズンのヒナたちがやって参りました！

一番入所はムクドリ兄弟の裸ヒナ。ピンクの体にグレーのうぶ毛がうっすら…。一晩外に置かれていたそうですが、兄弟の大半が頑張っ
て成長してくれました。今年は保育器を寄付していただいたので、
壮絶な鳴き声は抑えられました(笑)。

ハゲちゃんが何羽か出てしまい、試行錯誤しながら様々なご飯をあげて
おります。しっかりと飛べる子達は外の世界へ飛び立ちました！

そしてそしていつもたっくさんの兄弟で入所してくるカルガモ's
も来ておりました。

なんとその数、総勢 21 羽！！たった 1 週間のうちに大所帯となりました。
もちろんコリンパパがいそいそとお世話を(笑)さすがに全部は抱えきれず、
最高で 9 羽がお腹の下へ。なんと今回はコリンちゃんのお気に入りの
キンクロハジロまでお手伝い(ちょっとだけね)！カルガモの親分のようにど真ん
中に陣取っているなんとも可愛い光景が見れました。

スタッフは見た！

●アオバト泳ぐ●

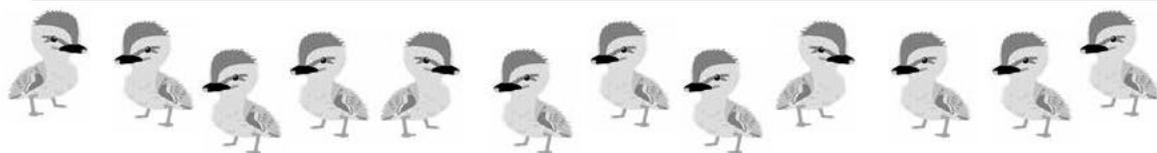
水辺にいる鳩でお馴染みのアオバト。実は泳ぐ姿がほとんど見られていないのです。
病院には現在 3 羽入院しております。先日、そのうちの 1 羽が体重増加(食べ過ぎ)によ
って上手く飛べず、下をうろちょろと。

ポーっと観察していると…まさかのプールに落下(笑)

なのですが！アオバトさん両翼を上手に使うってワッサワッサと余裕の顔で泳いでいるじ
ゃあないですか。動画が録りたい、もう 1 度落ちて泳いでほくれないだろうか、と淡い期
待を込めて見ておりましたが、そんな失態は起こりませんでした、残念。キジバトやドバ
トだとプールに落ちたら顔から動きから慌てまくりで、ジッタバッタと溺れそうになるの
です。同じ鳩とは思えないですね。

●トビは〇〇も好き●

だんだんと暖かくなってくると、川や用水路に姿を現し始めるザリガニたち。
そう、トビはザリガニだって食べるんです！



屋久島やまがら便り

その39

隣人の旅立ち

7月に入り、梅雨明けを思わせる晴天が続いたと思ったら、台風が発生とともにまた激しい雨季に逆戻り。豪雨には強い屋久島ですが、さすがに夏空が待ち遠しい今日この頃です。

この春、周りの環境にちょっとした変化がありました。唯一の隣人であるお向かいさんが、20年余りの屋久島の生活にピリオドを打たれ、お引越されたのです。ご夫妻は福岡出身。ご主人は長年屋久島の山々に登り尽くし、昭文社の地図の監修と解説なども執筆されている登山家さん。70代となられてからは、これまでに集めた膨大な資料をもとに、ライフワークとなる屋久島の山岳史をまとめあげられました。うちの猫たちの元々の飼い主さんで、瀕死の怪我を負った仔猫のちろを拾い育てた命の恩人です。10年ほど前から奥様も島に来られ、素敵な3棟だけの離れの民宿を切り盛りされていましたが、60代後半にさしかかれ、先々続けていくことが難しくなる前に、元気うちに自宅と民宿を人に譲ろうと決断されたそうです。今年に入るといよいよ買い手も決まり、あれよあれよという間に出発の日となりました。次の行先は京都の賃貸マンション。2年くらいじっくり腰を据えて大好きな京都・奈良の神社仏閣や庭園を巡った後、ゆくゆくは山のきれいな信州に行こうかな、と計画されています。荷物も人に譲ったり、そのまま置いていかれたり、必要最低限にして実にすっきりと。今は元気に「第3の人生」を満喫されています。島に来て以来大変お世話になったお二人がいなくなったのは淋しいけれど、潔く物にとらわれないご夫妻の生き方は素敵なお手本です。



新しいオーナーご夫婦は宿の常連客だったそうで、私たちと年齢がほとんど同じ。同級生同士でお子さんはなく、ご主人はしばらく仕事で東京と行ったり来たり、とまるで我が家と似た状況。とてもいい方たちで仲良くしていただいています。5月には客室の窓の戸袋にヤマガラが巣を作ったというので見せてもらいました。親鳥はとても慎重に辺りを警戒しながら、2羽で代わる代わるせつせと餌を運んでいました。幸い宿のお客さんたち

は皆快く見守って下さる方ばかりで、無事2羽のひなが巣立っていきました。ヤマガラは他のご近所さんの戸袋や郵便受けにも巣を作ったようです。ツバメやスズメのように、人間の傍が安心と思っているのでしょうか。今日は久しぶりにホトギスの声を聞きました。こちらも繁殖を終え、旅立ちの日が近いのかも。



今年になって島の知人が2人も急逝されたりと、この先の人生について考えさせられる機会も増えました。我が身を振り返ると、普段は相変わらずの1人と2匹暮らし。ちろは22歳、気が付けばこの辺りで一番の古株の住民です。娘のちゃこは推定16歳。ふたりとも長年お世話になったお父さんお母さんがいなくなったことを知ってか知らずか暢気にしていますが、年取って仔猫帰りしたようにますます甘えん坊。私はといえば、いい加減ずっと温めてきた計画を実現せねばとようやく踏み出し始めたところです。そのお話はまたいつか機が熟しましたら。（2016年7月15日・瀬戸山瑞香）

新入会員 どうぞよろしくお願ひ致します！

ニャーのありよう

このはけ口のないうっ憤はなんであるか。

ストレス社会に生きる人間「ヒゲ」の飼い猫であるオイラ、ジュンペイにもストレスはあるんだぞ。

ほらほら・・・ヒゲがきたきた。

ジュンペイたん！

弾んだ声でヒゲがオイラを呼んでいる。

エイジローが亡くなって以来、オイラがヒゲのご機嫌取りを一手に引き受けている手前、呼ばれたらすぐ顔を出さないと又、ヘソが曲がる。

何てこたあない！

往時の幫間もかくやの大サービス、背中なでなで、喉下ゴロゴロ、漸時されるがまま、解放されるまではじっとガマンのイイ子。

しかしこういつもいくとは限らないのがイカのオオンオン。

オイラもそうそう上機嫌の日ばかりでは無い、ところかまわず引っかいて反抗、ヒゲを驚かすことが多くなった。

さしたる理由も無く急に心が騒ぐのは人間だけではないとヒゲに伝えるのだが、あっちは無頓着を決め込んで知らぬ顔、いつもと同じ。

エイがいる頃は、馬乗りになったり、取っ組み合いをし、こうしたストレスを忘れていたが、今はヒゲがオイラで発散している。

区内でのエンジン刈り払いなどはストレス解消に多に効果ありと思った時、ハッと思い出した。

町田 安男 文

清水 大悟 絵



注) あつたので真似してはけません。

ヒゲはずっと腰痛を治療中で、長時間の作業ができない不満が溜り溜っているのではないか。

あれは一種の麻薬みたいな心理が働いてアシ原などを刈り倒した時の爽快感は何物にも勝ると聞いたことがある。

エンジン音に駆り立てられるように、背丈程茂ったのをみるみるうちになぎ倒す。

このような“コト”自体が普段あまり体験したことがない事だから余計に刺戟がたままないのだろうか？

とにもかくにも、こうした雑念にふけっているオイラにヒゲが寄ってきた。

前触れ無しにくること自体がうさくさいのに、今度は何やらぶら下げているようだ。

チョコッと見せてオイラの気を引いているがこちら、先刻そんなこたあ承知の助、その手は桑名の焼き蛤、気がつかない振りをしていると、ますます図にのって挑発、近寄って来た。

コチョコ、コチョコとつまんでいるのはカナヘビの死体、近頃この辺りではあまり見かなくなかった代物、死んでから間ナシのモノらしく眼が生きていた。

猫に襲われたのか尻尾の半ば千切れて赤いものがチラチラ。

何の反応も示さなかったらヒゲはポイと窓下にぶん投げた。気分を損ねてのことだろうが、何もそこまで、と。

オイラは他のネコと違って、このテのものはまるっきり興味が無い。窓に来るヤモリは、見ることは見るけどただそれだけ。エイはガラス越しにそっとさわっていたが、オイラはそれを横目にしながら、ヒゲに背中をなせてもらっている方がずっと良かった。

しかしこれがゴキブリになると、エイと共同、しかしリーダーはオイラ！それこそ家中を追っかけまわして息の根を止めてヒゲに見せるまで止まない。

溜ったホコリ、チリを巻き上げて思う存分走り回り仕とめた時の快感は、それまでのストレスを微塵に砕いて、あとは寝るだけ。

先日、ヒゲに又イタズラをされた。

いい気持ちでうつらうつらのオイラの鼻先に見慣れないものが。

リンククがはっきりするにつれて大きなカエルの作りモノ、しかもウシガエルの実物大とわかったのはしばらくしてから・・・そいつが突然、口から赤い光を、

次に吠え、ノソノソと動き迫ってきた。

びっくりしたの何のって、こっちは寝呆けまなこでとびあがった。仕掛けたヒゲはオナカを抱えての馬鹿笑い。しっかり楽しませてしまった。今でも、思い出すたびいまいましい。

そのうち、何とか考え中、いい思いつきが浮かぶにちがいない。何しろヒゲの一人の子分だから。

ふと、外に目をやると子連れの猫がこっちをのぞいている。

目が合っても内と外だから何てことはないが、オイラの来た時にグッコしてくれたモモエばあちゃんに顔も毛並みも体格も瓜二つのそっくりさん。

子供はというと黑白と茶トランの2匹で親とはどこをとっても似ていない。

近辺で生まれたノラ？かもしれないが、いいヒトに飼われて、穏やかな一生を過してもらいたいもんだ。が、すでに飼われていてたまたま散歩に出てきたのかも知れないから余りにいい加減なことは。

♂♀は不明だが元気に走り回っている姿はオイラたちの子供時代を見ているようで、ヒトだとここは涙ぐむシーンだろうが・・・

以前にちょくちょく顔を出していたグレイのミックスがとんと姿をみせなくなった。

大型で独特の風格をもってゆうゆうと歩き回り、時々窓を見上げてオイラたちをジロリと一瞥、立ち去った。

去勢してある猫の独特の顔つきは、いかつい体つきに似合わず穏やかな丸顔で、時々気にして外を見るのだが・・・

年をとったせいかやけに何か昔のコトが目に浮かぶことが多くなった。

加えて足腰も衰えて？きたせいか高い所へあがるのがオックウになって、目的地につくまで何段かのクッションが必要になった。

横で見て見ぬ振りをしていたヒゲが オイラがすべったのを目ざとく見つけて、オマエも年だナーと今さらのようにぬかした。

ここで人間なら、他人のことを云えるかヨ。自分を見ろ！

と、かえすところだったがオイラは“オトナ”だからそんなはしたないことはしない。

フンと鼻先で笑って、あとはその場を離れた。

ヒゲにはこれが一番。うっかりのったりしたら後々が大変。

ますますエスカレートして先が見えなくなる。

このところ連日の猛暑が続いてヒトサマの世界にイライラが蔓延、いやな事が多い。オイラたち動物の世界では考えられないようなコトを平気でするホモサピエンスとは何だろうか？

今日もバングラディッシュのダッカで起きたテロのニュースでもちきり。

主義主張が違うというだけで無暗に殺し合うなんてことはオイラたちの世界では考えられないコト。

争いごとに敗れたらそっと身を引いて姿を消す、又勝った方も深追いせずそのまま、といったルールができていて、殺すなんてことはよほど飢えてでもなければ・・・



争うカナヘビ(観察舎付近)



トウキョウヒメハンミョウ(保護区内)

2016年度通常総会が開かれました 2016年5月8日(日)

総会は、NPO法上の社員（友の会の場合は運営会員がそれにあたります）によって構成される最高意思決定機関で、年1回開かれます。

○審議事項

1. 2015年度事業報告、収支決算の件・

前年度の事業報告・収支決算が議決されました。

2. 役員改選の件

このたびの観察舎の休館に伴う友の会の方針や姿勢を確認する意味で、理事・監事は全員退任し、改めて選任しました。この結果、理事のメンバーが一部変わりました。新しい理事及び監事の任期は、2016年6月1日より2年間です。

5月31日付退任

理事 東良一 鈴木晃夫 清水大悟 石亀明 鈴木裕子 佐藤達夫
矢野英之 佐藤祐子
監事 田久保晴孝

6月1日付就任（ ）内は主担当を示す

理事 鈴木晃夫(行政対応) 清水大悟(広報) 石亀明(雇用・運営等)
鈴木裕子(地域・他団体対応) 佐藤達夫(保護区管理)
矢野英之(安全衛生) 佐藤祐子(会計) 野長瀬雅樹(事業)
鈴木陽子(野鳥病院) 堀江聡美(人材育成)
監事 田久保晴孝

☆次ページ以降に、事業報告・収支決算書等を掲載しています。さらに詳しい内容を知りたい方、議案書、議事録などをご覧になりたい方は、友の会までお問い合わせください。

東良一理事が退任しました

今回の理事改選を機に、東良一理事が退任されました。東理事は、友の会がNPOになる前より30年以上にわたり会の先頭にたって活動してきました。保護区の中に多くの湿地ができ、夢のような景観が実現したのも、東理事の地道な行政や研究者、他団体との協働が有ってこそのもだと思います。本当におつかれさまでした。厳しい状況ですが、新しい理事一同力をあわせてがんばります。(清水 大悟)

2015(平成27)年度 事業報告

特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会

前年度までと同様、水鳥をはじめとする野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元を中心に活動しました。2015年末の野鳥観察舎無期休館を受け、千葉県への要望書提出の他、関係各所への告知・情報交換等連携に努めました。

2015年度のおもな活動内容 ◆は今年度新規・初参加の活動

※【】内はその活動に関する収支計算書における支出項目を示しています。

記述のないものは管理費に含まれています。

1 自然保護の意義と知識の普及啓蒙に関する活動【観察会等事業費】

1-1. 行徳野鳥観察舎来館者等の応対 ※5-1. に関連項目

- ・保護区内や観察舎周辺等の案内・解説(団体利用・小中学校総合学習対応等含む)
団体利用84件2638名(内小学校17校1408名、保護区案内23団体729名)
[前年度団体利用99件3113名(うち小学校17校1502名、保護区案内13団体302名)]
- ・大学等実習受入(9校16名) [前年度9校23名]

1-2. 自然観察会等の開催

- ・新浜定例自然観察会(毎月第2日曜)延べ430名参加 [前年度延べ382名]
※日本野鳥の会東京支部、千葉県野鳥の会との共催
- ・夕暮れ観察会(毎月第4土曜)11回開催延べ102名参加 [前年度11回開催延べ118名]
- ・平日観察会(原則毎月第1木曜)10回開催延べ132名参加 [前年度11回開催延べ114名]

その他行事

- ・桜の花の観察会(4月5日73名参加) [前年度166名]
- ・行徳やちよかん祭り(11月7日600名以上参加) [前年度300名]
- ・保護区撮影・観察会(4月7日、4月9日、4月15日、4月29日延べ15名参加)
- ・江戸前干潟研究学校 7回延べ230名参加 ◆ ※3-2. に関連項目

1-3. 自然観察会・各種イベントなどへの参加・協力・出展、講師派遣

- ・愛鳥週間 千葉県主催観察会 講師派遣(5月16日)
- ・谷津干潟の日出展(6月6・7日)
- ・葛西臨海水族園トビハゼ観察会補助(6月13日)
- ・葛西臨海水族園特設展(8月1日～10月31日「東京湾のトビハゼとその仲間たち」協力 ◆)
- ・いちかわ環境フェア2015出展(10月3日)
- ・第7回東京湾海洋環境シンポジウム事例発表(10月7日) ◆
- ・東京湾大感謝祭環境学習交流会参加(10月25日) ◆
- ・ジャパンバードフェスティバル2015出展(10月31日・11月1日)
- ・台湾水環境教育会議シンポジウム発表(11月27日) ◆

(The Meeting of Taiwan Water Education Network and Asia Wetland Forum on Environmental Education)

2 生物の良好な生息環境の確保、保全、改善および復元に関する活動

2-1. 市川市および周辺地域における各種会議等での発言・提言

- ・行徳内陸性湿地再整備検討協議会
- ・行徳臨海部街づくり懇談会
- ・市川市生物多様性モニタリング調査(情報提供・観察会協力)
- ・市川市史自然編 作成協力(原稿執筆・資料提供) ◆

2-2. 行徳鳥獣保護区の野生生物の生息環境の改善・復元のための活動

- ・会員によるボランティア作業(随時) ※5-2. に関連項目含む

2-3. 他団体との協力・意見交換

- ・トビハゼ保全 施設連絡会(湾岸地域自然観察施設等連携によるトビハゼについての調査・情報交換・普及啓発活動)
- ・行徳保護区シンポジウム開催 (参加46名。保護区での生物調査報告とエコツアー事例発表及び行徳生物多様性フィールドミュージアム研究会活動開始宣言) ◆

3 野生生物についての調査および研究に関する活動

3-1. 野生生物の生息調査および研究【調査研究事業費】

- ・県内サギ類生息状況調査(繁殖地現況・予測調査、ねぐら入り調査、情報収集)
- ・周辺地域コアジサシ繁殖状況調査
- ・セグロカモメ、ユリカモメ標識調査
- ・鳥類カウント 行徳鳥獣保護区・新浜鴨場・江戸川放水路・三番瀬市川側各3回、市川市北部1回
- ・環境省モニタリング1000 シギ・チドリ類調査参加
- ・夜の昆虫観察会(ライトトラップを用いた夜間の昆虫相調査) 8月29日48名参加
- ・保護区植物調査
- ・保護区昆虫調査
- ・三島池汽水化実験(東邦大・茨城大・友の会)
- ・保護区タヌキ調査(日大動植物研究会・友の会)
- ・クイナ音声調査

3-2. 「江戸前干潟研究学校」の実施 ◆

- ・月1回2日間、保護区水域で定置網等を利用した調査イベント
(講師:風呂田利夫さん。一般参加7回、調査のみ5回)

3-3. 千葉県内繁殖地・ねぐらでの飛来状況・ねぐら入り羽数等調査(NPO法人バードリサーチ協力)

- ・行徳鳥獣保護区内繁殖状況調査
- ・クリスマス・コーモラント・カウント(CCC)2015
早朝採餌行動・夕方峙時調査 12月23日 55名参加 [前年度46名]
- 千葉県「千葉県カワウ生息状況等調査業務委託」

4 傷病野生生物の保護および救護に関する活動【野生生物保護費】※5-1. に関連項目含む

- ・傷病鳥救護、問合せへの対応など
- ・禽舎解説パネル、野鳥病院ニュースなど掲示物の作成
- ・警察署摘発の違法飼育野鳥鑑定、および保護飼養・放鳥協力
- ・「Yahoo!ボランティア」インターネット募金活動、
イオン市川妙典店・ダイエー南行徳店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」登録団体

5 千葉県行徳野鳥観察舎および行徳内陸性湿地の管理および運営に関する活動【施設管理受託事業費】

5-1. 千葉県「千葉県行徳野鳥観察舎管理運営業務委託」

- (1) 野鳥観察舎受付関連・普及啓発・周知広報等業務
 - ・定例園内観察会指導 毎日曜・祝日(64回実施)延べ812名参加 [前年度59回実施延べ960名]
 - ・ボランティア指導(ボランティアデー毎月第4土曜)12回開催・延べ99名参加 [前年度12回開催延べ145名]
 - ・自然環境保護啓発講座の開催(9講座開催)延べ239名参加 [前年度15講座延べ331名]
 - ・行徳野鳥観察舎HP(<http://suzugamo.seesaa.net/>)の作成・更新
 - ・取材・問合せ対応:新聞・テレビ・ケーブルテレビなど25件 [前年度7件]
- (2) 傷病鳥の救護と施設の管理
 - ・傷病鳥受付、台帳整備、治療、給餌給水、看護、回復訓練、放鳥、傷病棟の管理清掃、
収容鳥の健康管理、餌場手入れ補修 入所60種373個体・放鳥等214個体
[前年度入所69種368個体・放鳥等193羽]
- (3) その他施設維持管理・清掃業務
 - ・館内外清掃、除草、軽微な修繕等

5-2. 千葉県「千葉県行徳鳥獣保護区管理運営業務委託」 ◆

- (1) 保護区利用対応
 - ・保護区案内23団体729名
- (2) 保護区施設維持管理
 - ・観察路・観察壁維持管理、巡視点検、清掃・除草・植栽整備
- (3) 野鳥等誘引
 - ・営巣場所整備(除草等)、カワウコロニー管理

5-3. 千葉県「湿地保全事業 湿地環境改善・維持管理業務委託」◆

- 内陸性湿地帯を良好な状態に保ち、野鳥を誘致するための環境維持・改善・野鳥保護事業
- ・水管理
- ・湿地環境改善・維持管理

5-4. 千葉県「行徳湿地保全事業 水質・鳥類継続的調査業務委託」◆

- 内陸性湿地帯管理に役立てるため水質調査・鳥類調査
- ・水質調査(表層水10地点・2回/月、底泥水5地点・1回/隔月)
- ・鳥類調査(内陸性湿地帯 ライセンスサス及びマッピング週1回及び観察舎から定点月2回)
- ・鳥類標識調査 (10~3月)

6 この法人の活動についての広報に関する活動

6-1. 友の会発足30周年記念誌発行(8月)

14 6-2. ・会報「すずがも通信」発行(年6回偶数月1日)【会報発行費】

- ・新規会員種別「電子会員」制度創設及び会報電子送付開始(2016年2月1日発行第216号より)◆

6-3. 「野鳥観察舎四季の便り」年4回ポスター送付及び「しんはま写真展」開催

- ※市川市「市民活動団体支援制度」助成対象事業

7 このほか、この法人の目的を達成するために必要な活動

7-1. インターネット等での活動紹介、行事案内等

- 友の会Webサイト・ブログ・Facebookでの情報発信、市川ボランティアNPOweb、BIRDER.jp、行徳新聞等へのイベント情報案内

7-2. 行徳野鳥観察舎友の会インターン制度の実施【インターン事業費】

- ・第10期生 修了報告会(7月19日)2名
- ・第11期生 3名受入(6月14日入校式、2月21・25日中間報告会)

7-3. 職員研修

- ・多摩動物公園見学(4月13日4名・14日4名)◆
- ・里山管理実習(山武市)(4月26日)
- ・刈払い機安全講習受講(5月1名)
- ・甲種防火管理新規講習受講(5月2名)

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2015年4月1日より2016年3月31日まで

特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
I-1 一般事業		
1 会費収入		539,500
2 参加費収入		57,200
3 補助金等収入		48,000
4 寄付金収入		
寄付金収入	369,766	
募金収入	1,026,236	1,396,002
5 雑収入		
受取利息	8,866	
その他収入	315,318	324,184
I-2 受託事業		
1 千葉県委託事業収入		34,525,623
2 その他の委託事業収入	-	-
収入合計(A)		36,890,509
II 支出の部		
II-1 一般事業		
1 観察会等事業費	674,004	
2 調査研究事業費	222,642	
3 市川市1%支援事業	170,746	
4 野生生物保護費	-	
5 会報発行費	354,540	
6 インターン事業費	298,052	
7 管理費	332,357	2,052,341
II-2 受託事業		32,344,729
II-3 公租公課		71,792
支出合計(B)		34,468,862
支差額 (C) = (A) - (B)		2,421,647
前期繰越収支差額 (D)		4,434,170
繰越収支差額 (C) + (D)		6,855,817

平成27年度
特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表(勘定式)
 平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会
 (単位:円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	4,288,996		未払金	3,121,198	
未収金	5,635,380		預り金	8,941	
前払い費用	61,580		流動負債合計		3,130,139
流動資産合計		9,985,956			
2 固定資産			2 固定負債		
基本財産	33,689,994		固定負債	-	
什器備品	2,048,102		固定負債合計		-
減価償却累計額	-2,030,697		負債合計		3,130,139
固定資産合計		33,707,399	III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	38,150,266	
			当期正味財産増加額	2,412,950	
			正味財産合計		40,563,216
資産合計		43,693,355	負債及び正味財産合計		43,693,355

平成27年度
特定非営利活動に係る事業会計財産目録
 平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会
 (単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	238,730	
普通預金	三菱東京UFJ銀行行徳支店	2,032,159	
普通預金	三菱東京UFJ銀行浦安支店	-	
郵便貯金	市川塩浜郵便局	2,001,107	
	振替口座	17,000	
	現金預金合計	4,288,996	
未収金		5,635,380	
前払い費用		61,580	
流動資産合計			9,985,956
2 固定資産			
基本財産			
普通預金	三菱東京UFJ銀行浦安支店	3,913,554	
定期預金	三菱東京UFJ銀行行徳支店	29,776,440	
基本財産合計		33,689,994	
その他の固定資産			
什器備品	コピー機1台	26,102	
	トラクター1台 譲与による所	1,050,000	
	草刈機1台 譲与による所得	280,000	
	耕運機1台 譲与による所得	192,000	
	軽トラック1台 譲与による所	500,000	
減価償却累計額	コピー機	-8,699	
	トラクター	-1,049,999	
	草刈機	-280,000	
	耕運機	-192,000	
	軽トラック	-499,999	
	固定資産合計		33,707,399
資産合計			43,693,355
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		3,121,198	
預り金		8,941	
流動負債合計			3,130,139
2 固定負債			
固定負債		-	
固定負債合計			-
負債合計			3,130,139
正味財産			40,563,216

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成28年4月1日より平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人徳野鳥観察舎の会

(単位:円)

科 目	予算額			備 考
	計	小計	合計	
I 収入の部				
I-1 一般事業				
1 会費収入				
運営会員	40,000			2,000円×20名
普通会员	240,000			2,000円×120名
賛助会員	345,000			3,000円×115名
電子会員	10,000			1,000円×10名
ジュニア会員	2,000			500円×4名
団体・法人会員	30,000	667,000		10,000円×3口
2 参加費収入	40,000	40,000		干潟観察会&フィールドミュージ研・観察会・やちよかん祭り
3 助成金等収入				
東京ガスパワーアップ応	250,590			日本環境財団
県民の環境活動支援	228,000			(一財)千葉県環境財団
その他補助金収入	-	478,590		
5 寄付金収入				
寄付金収入	200,000			
募金収入	200,000	400,000		
6 雑収入				
受取利息	10,000			
その他収入	350,000	360,000	1,945,590	自販機関連・違法飼育鑑定等
I-2 受託事業				
1 千葉県委託事業収入				
保護区管理運営委託	26,032,525			
保護区湿地保全委託	4,060,009			
水質・鳥類調査	2,846,500			
2 その他受託事業収入	300,000		33,239,034	浦安市鳥類調査
当期収入合計(A)			35,184,624	
II 支出の部				
II-1 一般事業				
1 観察会等事業費	310,000			JBF・環境フェア・谷津干潟の日・やちよかん祭り・セミ観察会
2 調査研究事業費	200,000			寄付金充当(山崎喜美子基金)
3 助成金事業費	600,000			
4 会報発行等宣伝費	450,000			すずがも通信・HP作成費
5 インターネット事業費	300,000			寄付金充当(山崎喜美子基金)
6 管理費	400,000		2,260,000	庶務人件費・通信運搬費・負担金支出等
II-2 受託事業				
給与手当	21,800,000			
法定福利費	1,900,000			社会保険料、労働保険料
福利厚生費	100,000			予防接種、健康診断、傷害保険料助成
退職金共済掛金	720,000			
研修費	20,000			
旅費交通費	40,000			
通信運搬費	20,000			振込手数料、切手
消耗品費	800,000			消耗工具器具文具等の購入
償代	850,000			寄付金充当
燃料費	185,000			ガンリン・軽油・灯油
医薬品	100,000			傷病鳥用
印刷製本費	200,000			コピー機メンテナンス
修繕費	800,000			重機草刈機保守点検・補修等
修繕予備費	1,000,000			重機修繕・買換え積み立て
車両費	85,000			車検
賃借料	0			
保険料	200,000			自動車・観察会等保険料
租税公課	1,232,000			消費税・印紙税等
業務委託	2,500,000			理・水車池シート補修・仮設倉舎修繕
支払報酬	0			
雑費	50,000			自販機関連
管理費	600,000		33,202,000	
II-3 公租公課	70,000		70,000	法人住民税均等割
当期支出合計(B)			35,532,000	
当期収支差額(A)-(B)			-347,376	
前期繰越収支差額			4,834,266	
次期繰越収支差額			4,486,890	

ピンチ3題

蓮尾純子

みなさま、パブリックコメントへのご協力ありがとうございました。いきなり「至急」のスタンプが押された封書が届いて仰天された方もおられると思います。期日が迫っていたためスタッフが大急ぎでお送りしたもので、失礼の段なにとぞお許しくださいますよう。

パブリックコメント（略称パブコメ）というのは審議会などで出された答申案に対し、広く一般からの意見を求めて答申に反映させるというものです。丁寧にホームページなどを見ないと募集していることすらわからず、あまりなじみのないものです。また「コメント」であるからには、やっぱりきちんと筋の通った内容を書かなくてはいけないというプレッシャーもかかって、関係者でもないかぎり思い切って出すのが面倒なものでした（少なくとも私には）。みなさまもきっとそうだったと思います。それでも、今回の「行徳野鳥観察舎は廃止の方向で検討する」という答申案に対して、おそらく数百通ものパブコメが提出されたようです。結果は千葉県のホームページに公表されるのですが、なんでも公表は7月末ごろになりそう、とのこと。なんらかの形で答申に反映されることを期待しています。

さて。この稿がお目に止まるころには、まる5週間ロシアに行っていて、通る方々から「佐藤さん、やめちゃったの？」と何度も聞かれている舎長さんこと佐藤達夫が（無事なら）戻ってきているはず。3人で交替して朝当番・夜当番をつとめる常勤さんが2人になって、青息吐息です。幸いに2人

とも倒れずにちゃんと仕事をしていますけれど。私はといえば、お土産用にせんとくバサミのタヌキを量産して、その後はタイにいて第2子を出産された山本尚子さん用にスローロリスを作れと厳命されて、要するにせんとくバサミ（ピンチ）を使い切ってしまったというわけ。

そこで1題目。ある特定の形のピンチが気に入っていて、それは船橋のザ・ダイソーにしかなかったのです。ところがどうやら生産中止か何かになってしまったらしい。間に合わせに買ってきたもので作ったら、どうも変。足が開きすぎるのです。そんなん気にしてピンチを見たことなかった。昨日はダイソーに行って、とりあえず3種類ほど買ってきました。仕上げた時の落ち着き具合はこれから見ない。

2題目。同じくせんとくバサミのマスコットがらみで、目玉にするための素材を買うので津田沼のユザワヤへ。店舗改装のバーゲン中で、いつもなら100円をこえるボタン式の目玉がなんと「30円」。買い込みましたねえ。お財布の中身は硬貨だけに。行徳に降りたらすぐに銀行でおろさなくちゃ、と思いつつ、きれいに忘れてスーパーで買い物始めたあと、はっと気づいた！大慌てで買い物かごを隅に置いて銀行に飛んでゆきました。レジに並ぶ前でよかった。

3題目（これが最大）。同じ日。暑い中、ひと息入れようとマックで100円のソフトクリームを。食べている最中に、なぜかコーンが折れちゃった！さあ大変、上を食べて、あわてて下をなめて、上を食べて下をなめて、まあなんとか大惨事にはならず済みました。あんなオソロシイ思い、何日ぶりか。

窓の外でカララヒワがさえずっています。今朝、初めてアブラゼミを聞きました。猫の毛替わりはまだ続きそう。暑い毎日、みなさまどうぞお元気で。

2016年 5・6月 活動報告

市川市・千葉県等、他団体主催行事含む。定例観察会は除く

- ・ 5/4～5(水) 菖蒲配り(事前準備含む)
 - ・ 5/14(土) 浦安市鳥類カウント(新浦安駅マーレ前集合)
 - ・ 5/14(土) 愛鳥週間探鳥会 16名
 - ・ 5/17(火) トビハゼ保全施設連絡会出席(野長瀬)
 - ・ 5/21(土) 谷津干潟自然観察センター「コクガン」講演会出席(佐藤達)
 - ・ 6/4・5(土・日)谷津干潟の日出展
 - ・ 6/5(日) いちかわ環境フェア2016 出展(於コルトンプラザ)
 - ・ 6/18(土) 江戸川放水路トビハゼ観察会
(葛西臨海水族園主催。トビハゼ連絡会として野長瀬参加)
 - ・ 6/20(月) ベントス調査情報交換会(於谷津干潟)
 - ・ 6/28(火) 地域環境社会講座(千葉商大)
- ・ 随時：植物調査(植物調査) 昆虫調査(昆虫班)
夜間生物調査準備(夜間生物調査イベント班)

取材・打合せ等

- ・ 5/10(火) 県環境生活部部長ら視察
- ・ 5/13(金) 市川市議視察
- ・ 5/15(日) TV朝日スーパーJチャンネル取材(風呂田さん。5/28 放映)
- ・ 5/18(水) 市川市環境部部長ら視察
- ・ 5/26(木) 市川市議視察
- ・ 6/10(金) 千葉県議視察

特別企画行事

- ・ 5/7(土) インターン企画子ども観察会(干潟生物) 35名
- ・ 5/15(日) 江戸前干潟研究学校 32名
- ・ 5/29(日) フィールドミュージアム「町田池」: 13名

行事案内

特記があるもの以外は無料です。★屋外での行事に参加する際は、必ず飲み水と帽子をご持参ください。

☆ボランティアデー 毎月第4土曜日

13時から16時ごろまでの予定です。観察舎スタッフといっしょに保護区の管理作業をしてみませんか？
参加ご希望の方は、事前に行徳野鳥観察舎までお問い合わせ下さい（電話047-397-9046）

☆昆虫観察会 8/13(土) 9時30分～11時30分

集合：観察舎前 定員先着20名。持物：捕虫網・虫か・帽子・飲料・タオル・虫よけ
セミやバッタなどを捕まえて観察してみよう。（保護区内でとらえた生物はお持ち帰りはできません）

☆セミの羽化観察会 8月13日(土) 18時半～20時半 ※観察舎駐車場集合

定員先着 30名 参加費大人300円(18歳未満無料) 持物：懐中電灯・虫よけ
夏の夜、長い地中生活を終えて羽化するセミの様子を観察します。

☆夜の生物観察会 8月20日(土)(雨天・荒天時は翌日に順延) 19時～20時半

集合：観察舎前 参加費大人200円・中高生100円・小学生以下無料
好評の昆虫観察会が、パワー・アップ！ 今年のコウモリなど、昆虫以外にも注目します。
小学生以上定員30名・要申込み(8/15月曜締切) 申し込み先：観察舎047-397-9046
持物：懐中電灯・虫よけ・飲料 詳しくはチラシをご覧ください。

☆行徳生物多様性フィールドミュージアム

「泥干潟ってどんなところ？」 8月20日(土) 13時～16時

先着20名・参加費50円 講師：多留聖典さん(東邦大学)
保護区は全体的に泥っぽい環境。普通の干潟との違いは？トビハゼやカニなどを観察しながら泥の干潟を学んでいきます。

☆江戸前干潟研究学校 8月21日(日) 10時～15時まで 午前・午後のみも可

昨年度につづく実施。東邦大学理学部東京湾生態系研究センターの指導により、保護区内の湿地や干潟で環境学習をするプログラムです。今回は水辺にしかけた網を回収して、魚やエビなどを調べます。
先着20名 持物：帽子・長靴・軍手・筆記用具・飲料・昼食

☆三番瀬自然観察会（船橋） 8月7日(日) 9月4日(日) 10月2日(日)

集合：船橋海浜公園バス停 10時。 解散：14時ごろ。
交通：京成船橋駅南口（JR船橋駅南口より徒歩2分）より船橋海浜公園行きバス乗車、終点下車。または、JR京葉線二俣新町駅より徒歩25分（バスもあり）
持物：弁当、飲み物、帽子、雨具、長靴（または濡れてもいい靴）、観察用具など 参加費：200円
主催：千葉県野鳥の会 問合せ：田久保（XXXXXXXXXX）。

8月になれば、もう秋の渡りがはじまります。国境を越えて渡るシギやチドリ、アジサシなどを探してみましよう。暑いですので帽子・飲み物をお忘れなく。

保護区の観察会のご案内

どなたでもご自由に参加できます。

保護区の中には、以下の観察会などで入ることができます。多少汚れてもよい靴で。夏は蒸し暑くなりますので、帽子や飲料をご持参ください。(保護区内にトイレ、水飲み設備はありません。)

☆定例園内観察会 (毎週日曜、祝日) * 事前に観察舎前で名簿にご記入ください。

集合：行徳野鳥観察舎前 13時30分 解散：15時30分ごろ。*雨天中止
問い合わせ：野鳥観察舎 (047-397-9046) 協賛：行徳野鳥観察舎友の会
入道雲にウミネコが舞う季節。さまざまな虫やカニなども保護区の夏を彩ります。

☆定例新浜観察会 (毎月第2日曜日) 8月14日(日)、9月11日(日)、10月9日(日)

集合：地下鉄東西線 行徳駅前(改札を出て左前方の広場) 10時
2コースに分かれます。「新浜保護区コース」は保護区の中をゆっくり回り、13時30分ごろ解散。「放水路経由コース」は、バスで江戸川放水路へ、その後保護区を巡り、15時30分ごろ解散。解散場所はいずれも観察舎前。
主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京支部、千葉県野鳥の会。 問合せ：友の会 (070-1491-9898)
参加費：200円(18歳以下は無料) 持物：昼食、飲物、帽子、放水路経由コースはバス代400円(子供200円)
秋の渡りの季節。シラサギの群れの足元に小さなシギの姿を探します。小鳥の通過も楽しみ。

☆夕暮れ観察会 (毎月第4土曜日) 8月27日(土) 9月24日(土) 10月22日(土)

集合：行徳野鳥観察舎前 16時30分 解散：18時30分ごろ。
問い合わせ：友の会 (070-1491-9898) *小雨決行
シラサギやツバメのねぐら入りを期待。日が落ちると秋の虫が鳴き始めます。特に9月は大合唱。

☆平日観察会 8月4日(木) 9月1日(木) 10月6日(木)

集合：行徳野鳥観察舎前 10時 解散：正午ごろ *雨天決行
問い合わせ：友の会 (070-1491-9898)
夏空をバックに背丈以上にのびた湿地の植物が穂をなびかせています。秋のミズアオイも楽しみ。

○友の会新ホームページ <http://gyotokubird.wix.com/npofgbo>

8月1日より始めます。どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

☆冷蔵庫に放りこんでおいた2年前のヒャクニチソウの種をまいたら、発芽してくれた。花が咲くとよいのだが。難敵はナメクジと我が家の日照不足である。(D)

すずがも通信 No. 219(隔月発行) 2016年8月1日発行

発行所 認定特定非営利活動法人 行徳野鳥観察舎友の会

E-mail tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

年会費 賛助3000円以上、普通2000円、電子1000円、ジュニア(18歳以下)500円、法人・団体10000円以上

郵便振替 行徳野鳥観察舎友の会 02220-4-6129

URL <http://gyotokubird.wix.com/npofgbo>

編集 清水大悟、若林直樹、西方明雄、岩崎加奈子(庶務)

印刷 株式会社 オフィス ティースカイ

[千葉県行徳野鳥観察舎(休館中)]